

第1回 今福小学校・放出小学校学校適正配置検討会議 議事要旨

1 日時

令和8年3月12日(木) 19時から20時30分

2 場所

城東区役所3階応接室

3 出席者

(メンバー)

上島氏、高橋氏、内藤氏、樋口氏、
小川氏、北野氏、高木氏、谷口氏、藤本氏

(事務局)

吉村 城東区担当教育次長(城東区長)
角田 城東区教育担当部長(城東区副区長)
田村 城東区教育担当課長(城東区役所子育て教育担当課長)
岡嶋 城東区教育担当課長代理(城東区役所保健福祉課子育て教育担当課長代理)
長井 教育政策課担当係長(城東区役所保健福祉課担当係長)
堀川 教育政策課担当係員(城東区役所保健福祉課係員)

(オブザーバー)

柳井 今福小学校長
大無田 放出小学校長

4 議事

- (1) これまでの経過
- (2) 検討項目と今後のスケジュール
- (3) 次回の検討会議について

5 会議資料

会議次第

- 資料1 今福小学校・放出小学校学校適正配置検討会議開催要綱
資料2 今福小学校・放出小学校学校適正配置検討会議メンバー名簿
資料3 これまでの経過と適正配置の実施まで
資料4 今福小学校・放出小学校学校再編整備計画
資料5 学校適正配置検討会議について(概要)
資料6 検討項目とスケジュール

6 議事要旨

(1) 事務局より説明

- ・ 事務局から、今福小学校・放出小学校学校適正配置検討会議の概要・位置づけ、検討項目の内容及びそのスケジュールなどについて説明を行った。
- ・ 検討項目の「通学路の安全対策」については別途専門部会を立ち上げて検討を進めたい旨の説明を行った。

(2) 質問・意見等の概要

【再編整備計画の公表後について】

(メンバー)

- ・ 再編整備計画の公表後に、両小学校の保護者に対して説明会を実施したか教えてほしい。
⇒ それぞれの学校で1回ずつ、令和6年10月に説明会を実施している。

(メンバー)

- ・ 今福小学校の保護者の中には、「時期はわからないが統合するらしい」というくらいの認識で止まっている方もいると思われる。
⇒ 今福小学校の保護者会から要望があれば、改めて説明会をさせていただく。

【通学路について】

(メンバー)

- ・ 学校再編整備計画では、今福小学校区から放出小学校区に入るために寝屋川を越えるルートは今福小南側そばの極楽橋となっているが、通学路の検討の際にはこの橋が交通上安全であるという確認もしていくのか。
⇒ 同計画で示した通学路はたたき台であり確定したものではない。
専門部会ではこれまでいただいている意見も取りまとめてお示ししたい。
こういった手法で安全性を確保するか、現地確認を行うことも考えている。

(メンバー)

- ・ 極楽橋は車がよく通るためかえって危ないのでは。放出小の北側そばにある寝屋川歩道橋も通学路にした方が近くなるし安全ではないか。
⇒ 学校再編整備計画の策定時に聴取した意見の中に、寝屋川歩道橋を通るのは危険であるというものがあって同計画上では通学路から外しているが、改めて専門部会で安全性について検討したい。

【児童・学級数の推移の状況について】

(メンバー)

- ・ 学校再編整備計画に記載されている児童数・学級数の見込みについて、当時の見込みが現状の児童数に比べて多すぎるのでは。
⇒ 再編整備が決定した後の小学校を選択する児童は少なくなるという傾向はどこでもある。当時の学校再編整備計画の策定の際の見込みになるので、現時点での状況に基づく児童数見込みに更新したものを次回にお示ししたい。

【再編整備前の今福小学校について】

(メンバー)

- ・ 学校選択の結果、今福小学校の新入学者が0名になってしまった場合は、これらの内容を検討する必要があるのか。
⇒ 学校別に通学区域が定められている。適正配置後は新しい小学校の通学区域に今の今福小学校区が含まれることになる。0名になった学年だけでなく、以降に入学を迎える当該通学区域に居住する児童がいることから通学路等を検討していく必要がある。

【学校適正配置検討会議のメンバーについて】

(メンバー)

- ・ メンバーについて学校適正配置検討会議開催要綱の第3条で定められているが、各校に在席する児童の保護者として委嘱を受けているメンバーについて、児童が卒業して保護者でなくなってしまって、メンバーが通学区域の地域住民だけになってしまう場合は、問題無いか。
⇒ 問題は無いが、可能であれば保護者の方にメンバーに入っていただく方が望ましい。適正配置の時点でまだ小学校に在籍する学年の保護者であればより望ましい。

【再編整備後の小学校について】

(メンバー)

- ・ 新しい小学校は、他の通学区域から選択してもらえるような魅力ある学校にしていきたい。
- ・ 1小学校1中学校になるのだから小学校と中学校の連携をもっと強めてほしい。小中一貫校の検討や中学校の部活動に小学校6年生が参加して交流するといったようなこともできないか。
⇒ 本検討会議は、小学校どうしの統合（再編整備）について意見聴取し、検討する公開の会議であるため、必要な項目について検討することが主となるが、新しい小学校が設置された後も、小中一貫校や中学校との連携については、本検討会議の中で出された意見もふまえつつ、学校運営上の課題として、地域、保護者の方々とともに引き続き議論しながら、教育委員会や学校と連携して考えていく。